

<学界消息>

◇関西支部の活動

(1999年9月～2000年2月)

○関西ワークショップの開催

第76回ワークショップの模様 (とき：1999/9/18
ところ：甲南大学)

本庄 眞氏 (奈良県香芝市立真美ヶ丘東小学校)、
田代智恵子氏 (大阪市環境事業局職員課)、天野
雅夫氏 (甲南病院看護専門学校)「日中環境教育
情報交流シンポジウムおよび中国エコツアー報告」

第77回ワークショップの模様 (とき：1999/10/23
ところ：甲南大学)

山口克幸氏 (前川総合研究所取締役)「前川製作
所におけるISO14000への取り組み～自己組織性
のマネジメントと環境問題～」

第78回ワークショップの模様 (とき：1999/12/11
ところ：大阪府立青少年会館)

塩川哲雄氏 (大阪府立北千里高等学校)、坂口大
介氏 (大阪教育大学大学院)「水俣病事件から現
代の環境問題を考える—水俣・おおさか展と高校
での授業実践の研究と課題—」

第79回ワークショップの模様 (とき：2000/2/2
ところ：京都 法然院 本坊)

共催：(財)京都ユースホステル協会・環境教育事
業部

ジェリー・シモダ氏 (ハワイ・プフホヌアオホナ
ウナウ国立歴史公園／元公園長)、ジョン・タイ
ラー氏 (アメリカ内務省国立公園局／トレーニン
グ開発部副主任)、マイア・ブラウニング氏 (グ
ランドキャニオン・アルブライト・トレーニン
グセンター／トレーニンクマネージャー)「米国立
公園管理官 (National Park Service, Ranger) 来
日講演会『アメリカの国立公園とインタープリテ
ーション』」

○ニュースレターの発行 (「関西ECOMAIL」)

第51号 (1999/9/20) 第52号 (1999/11/8)

○第8回支部研究大会 (とき：1999/11/27 とこ
ろ：甲南大学8号館)

関西支部におけるネットワークを密にするた
めに第8回支部研究大会が開かれた。なお、会
長の沼田眞先生をお招きして、関西支部10周年
の記念座談会もおこなった。発表者は24名、シン
ポジスト6名、そして参加者は161名であった。
谷口文章 (第8回関西支部研究大会実行委員長
・関西支部長)

支部大会の内容

◇話題提供：赤尾整志氏 (関西支部前支部長)
「関西支部の10年を振り返って」

◇シンポジウム「関西のネットワーク作りのため
に—今までの10年とこれからの10年—」
コーディネーター：鈴木善次氏 (大阪教育大学
名誉教授)

シンポジスト：高畑正氏 (神戸エコアップ研究
会)「兵庫エリアにおける環境教育の10年」、川
本方也氏 (五條市立牧野小学校)「奈良エリア
における環境教育の10年」、清水俊雄氏 (堺野
鳥の会)「大阪エリアにおける環境教育の10年」、
宇高史昭氏 (京都市環境局環境企画部地球環境
政策課)「京都エリアにおける環境教育の10年」、
村上宣雄氏 (滋賀県西浅井町立西浅井中学校)
「滋賀エリアにおける環境教育の10年」、田伏
政昭氏 (和歌山県立向陽高等学校)「和歌山エ
リアにおける環境教育の10年」

◇記念座談会：沼田 眞 先生 (日本環境教育学会
会長)を囲んで

テーマ：「私の学生生活と日本の環境教育」
司会：谷口文章 (関西支部長)

◇一般研究発表 (4分科会)

A分科会：「地域活動・ネットワーク」

9:30 本庄 眞 (奈良環境教育研究会)「民俗博物
館との連携—お茶の研究を通して—」

9:50 戸田耿介 (兵庫県立人と自然の博物館)
「博物館におけるエコツアー型環境学習の試み—
ボルネオ・ジャングル体験スクールの実践から—」

- 10:10 渡邊隆俊（甲南大学）「大学における環境教育教材開発—情報ネットワークを中心として—」
 10:30 高橋寛幸（貝塚市立西小学校）「親しまれる川づくり—近木川・川の分校づくり—」
 10:50 紺野 昇（大阪府立三国丘高等学校）「インターネットを活用した環境情報の発信と交流」
 11:10 山田弘司（大阪教育振興公社生涯学習E問題インストラクター）「信太山湿地保全事業についての考察」

B分科会：「自然環境・フィールド」

- 9:30 深野哲也（大阪府立貝塚南高等学校）「植物によるNOx吸収率の簡易測定」
 9:50 中村和幸（大阪府立城山高等学校）「紫を題材とした環境教育の実践—バタフライ ガーデンの制作を通して—」
 10:10 田先崇志（兵庫県立香寺高等学校）「降雨の酸性度に池と竹の1年を教材にして」
 10:30 西田憲市「校内の池の校種を越える利用」
 10:50 飯尾美行（静岡県立浜松城北工業高等学校）「ものづくりを通じた環境教育—リサイクルによるペットボトル船づくり—」
 11:10 恩地 実（甲南高等学校）「『ネズミ類』による自然環境評価」

C分科会：「総合学習・教材開発」

- 9:30 藤岡達也（大阪府教育センター）、井上暗貴（大阪市立阿倍野中学校）、松井克行（大阪府立西淀川高等学校）「総合的な学習教材としての大阪の河川について」
 9:50 井上暗貴（大阪市阿倍野中学校）、藤岡達也（大阪府教育センター）「地下水を素材とした環境教材の開発の試み—大阪市内の井戸水を例として—」
 10:10 松井克行（大阪府立西淀川高校）、藤岡達也（大阪府教育センター）、片岡法子（財団法人 公害地域再生センター）「高等学校・地域間の連携による総合的な学習の創造—西淀川をフィー

ルドとする環境学習計画—」

- 10:30 山本勝博（大阪府教育センター）「環境問題における濃度単位についての—考察」
 10:50 伴 季子（京都市立永松記念教育センター）「『総合的な学習の時間』における環境学習の展開—身近な地域素材から出発する学習モデルの開発」
 11:10 田伏政昭（和歌山県立向陽高等学校）「授業研究—環境家計簿コンピューター版を使って—」
 D分科会：「環境倫理・情報・社会教育」
 9:30 天野雅夫（甲南病院看護専門学校）「環境教育と環境倫理」
 9:50 クリストファー・ストーリー（ランカスター大学・甲南大学）「イギリスの環境教育の状況」
 10:10 重藤英一（門真市立第三中学校）「『センスオブワンダー』を素材とした環境教育の展開」
 10:30 坂口大介（大阪教育大学）「中学・高校の社会科において環境問題を取り上げる際の課題に関しての—考察」
 10:50 平田富士男（兵庫県立淡路景観園芸学校）「社会人を対象とした花と緑のまちづくり教育」
 11:10 森家章雄、西川祥子（神戸商科大学）「環境倫理の構成・総合化と環境教育」

◇福岡県支部の活動

（1999年9月～2000年3月）

○第3回例会の開催（2/12）

環境シンポジウム「国際理解と環境教育」

○ニュースレターの発行

「福岡県環境教育学会ニュースレター（仮称）」

VOL. 4（1999. 11）

VOL. 5（2000. 3）